

平成20年度コミュニティ・スクール推進事業委嘱希望調書

1. コミュニティ・スクール推進事業委嘱希望校について

(1) コミュニティ・スクール推進事業委嘱希望校

設 置 者	ふ り が な 学 校 名
京都市	きょうと しりつ らくさい ちゅう がっこう 京 都 市 立 洛 西 中 学 校

(2) 学校の概要

ふ り が な 校 長 名	くちなか はるひさ 口 中 治 久	委 嘱 年 数	2 年目					
所 在 地	京都市西京区大原野西境谷町2丁目8番地							
電 話 番 号	075-331-6131	F A X 番 号	075-331-6159					
教 職 員 数	30							
課程及び学科 (高等学校のみ)								
学級数 及び 幼児児童生徒数	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
	学級数	4	4	5	育成2			15
	幼児児童 生徒数	131	115	133	4			383
学校運営協議会 設 置 状 況 (いずれかを記入)	1. 既に設置をしている 平成 19 年 3 月 27 日 に設置							
	2. 今後設置を検討している 平成 年 月頃 に設置予定							
	3. 未定 (2年目の学校は理由)							

平成20年度コミュニティ・スクール推進事業委嘱

1. 京都市立洛西中学校

2. 調査研究課題

学校運営に関する学校運営協議会の役割と関係者・関係機関との連携の在り方

3. 調査研究の内容

(1) 本校の校区・洛西ニュータウンも、他のニュータウン同様少子高齢化が進み、人口減に伴うさまざまな問題を抱えており、多くの地元住民がオールドタウン化への危惧を持っている。

本校の教育活動が保幼小中高の異校種連携を図りながら洛西地域全体の子育て・教育に寄与する。また、地域の各種団体の取組が学校教育（保幼小中高を含む）の諸活動に貢献する。学校と保護者（PTA）・地域が、双方から協力・支援体制を構築し、子どもたちの育ちと学びを保障する。そのための、学校運営協議会である。

(2) 「学力向上アクションプラン～洛西方式～」における学校運営協議会の役割。

本校では、「学力水準の向上と学力格差の解消を実現するための6つの柱」を掲げ、「確かな学力育成」の実践研究をすすめてきた。

「学力水準の向上と学力格差の解消を実現するための6つの柱」とは、以下の通りである。

- ①授業時数確保の取組（量的な学力向上プラン）
- ②「わかる授業」を求めて、授業改善の取組（質的な学力向上プラン）
- ③家庭学習習慣化のための宿題の取組（家庭との連携による学力向上プラン）
- ④異校種連携の取組（地域の保幼小中高による学力向上プラン）
- ⑤地域との連携の取組（地域との連携による学力向上プラン）
- ⑥土曜日活用の取組（土曜スクールによる学力向上プラン）

「学力向上アクションプラン～洛西方式～」の取組のうち、①②は主に学校主体の取組であるが、放課後や長期休業期間中の補充あるいは発展学習などの派遣講師を学校運営協議会が発掘する。

③の家庭学習習慣化の取組について。単に宿題を課す取組ではなく、早寝早起き朝ごはん・読書習慣など生活確立の取組を地域全体として進める。学校運営協議会が発案する。

④異校種連携について。校区には2つの保育園と3つの幼稚園がある。また、2つの小学校、公立高校と私立高校がそれぞれ1つずつある。これら保育園から高校までの洛西地域における子育て教育機関が、本校の中学校教育を起点として、他地域の教育機関より進路実績を含む全ての教育実績を上げることがを目指す。そのための手立てとして、校区2小学校への中学校教員の計画的な出前授業に加えて地域からの講師派遣により義務教育9ヵ年かけて学力低下の克服を図る。また、校区内にある府立高校と私立高校と授業交流、部活動交流、進路保障など連携を深める。学校運営協議会が連携母体となる。

⑥の土曜スクールについて。英語検定・漢字検定学習に特化して希望者を募り、英検・漢検合格を目指す。地域住民に対しても生涯学習の場として学ぶ人も教える人も募る。小学生にも参加を呼びかけ、英語などの先行学習を進める。これらの派遣講師を学校運営協議会が発掘する。

(3) 「人間力向上アクションプラン～洛西方式～」における学校運営協議会の役割。

本校では、学校教育目標を「よりよい社会の実現に貢献しようとする人間性の育成」とし、道徳や総合的な学習の時間などを利用し、ボランティア活動を含むさまざまな体験活動を推進している。環境教育、福祉教育、人権教育（部落差別・外国人差別・障害者差別など）、国際交流教育、キャリア教育、職業教育など、地域ボランティアの人に指導していただいている。これら地域ボランティアを学校運営協議会の企画推進委員とし、より一層連携を深める。

(4) 地域との連携の取組における学校運営協議会の役割。

⑤の地域との連携については、洛西校区地域生徒指導連絡協議会における諸行事（洛西ふれあいフェスティバルや小中部活動交流時の炊き出し、地域教育学級、地域一斉清掃、地域パトロールなど）に関わる。

また、本校の空き教室を利用し、学校支援地域本部ルーム（地域ボランティア教室）を設置する。学校運営協議会の会議、洛西ニュータウン地域創生委員会や地域ボランティア団体の会議に開放する。そして学校の敷地内に学校運営協議会の活動ならびに地域ボランティア活動などを日常化し、生徒との交流を図る。

(5) 学校運営協議会の体制。

学校運営協議会理事	9	①保幼小中連携部会（大村）……………小中連携に関わる
		②中高連携部会（北岡）……………京都成章高校と洛西高校等との連携に関わる
	つ	③学力向上部会（近藤・義村）……………放課後や長期休業中の補充発展学習に関わる
		④地域連携部会（森・古澤）……………地域生徒指導連絡協議会との連携に関わる
	の	⑤土曜スクール部会（西依）……………各種検定試験などに関わる
		⑥人間力向上部会（巽・齋藤・岩本）…道徳、福祉、人権、国際交流などに関わる
	部	⑦評価検討部会（近藤）……………学校評価（評価項目・時期等）検討に関わる
		⑧情報発信部会（教頭）……………学校運営協議会の情報発信に関わる
	会	⑨環境美化部会（教頭・杉崎・濱田）……………学校の環境美化活動に関わる